

高田川新聞

2019年8月26日 発行 高田川部屋後援会事務局 〒135-0024 東京都江東区清澄2-15-7 www.takadagawa.com

大相撲 九月場所 令和元年9月8日より15日間 於 両国国技館

高田川部屋では、15歳から22歳までの力士を目指す若者を随時募集しております。

竜電

九月場所に向け、ついに国技館でも竜電応援タオルが販売されることになりました。

(水色地に黒文字)



期待を背に挑む場所に

竜電に三役の壁

令和最初の名古屋場所は、気がつけば大関陣四名が全て休場するという異常事態。優勝争いは、久しぶりに横綱同士の千秋楽決戦となり、それを制した鶴竜が一年ぶりの賜杯を手にした。高田川部屋では、躍進の竜電が小結として土俵に立ち、前半戦で二大関を撃破したものの、その後は波に乗れず、四勝で敢え無く三役の座を手放した。輝も七勝七敗の五分で千秋楽を迎えたが、黒星を喫って勝ち越しを逃した。



初日の協会ご挨拶。竜電は右後方

輝 勝ち越しならず

初日の栃煌山戦、輝は追いつめられた土俵際でスルリと体をかわして今年初めての初日白星発進。動きはよかったが、二日目の佐田の海戦では逆に土俵際の詰めが甘く、勝てる勝負を逃がした。前半三連勝して五勝三敗と勝ち星先行の折り返し。だが、後半戦に星が伸びず、千秋楽を七勝七敗と互いに痺れる五分の星同士で迎えてしまった。気負ったが、よく攻めながらも隠岐の海に白星を献上して勝ち越しならず。同級生で元チームメイト対決となった七日目の炎鵬戦には、角界の先輩としての意地を見せたが、準当地の名古屋場所、同郷の遠藤、炎鵬が揃って三賞を受賞。悔しくないわけがない。九月場所幕内在位二十一場所目。二十一歳で幕内昇進してからまだ果たせていない課題がたかさんある。二桁以上の勝ち星、連続勝ち越し、

幕下で初の勝ち越しの大野城、狙う大野城は、四度目の正直、初日の陽翔山戦からその姿を現した姿を見せてくれた。これまでは差し手争いの後は長い相撲になることが多かったが、一気に攻めて寄り倒す。二戦目の相手は元大関の照ノ富士。臆することもなく相手が根負けするまで攻め続け、大きな敵を寄り切った。六戦目にはうれしい幕下初勝ち越しを決め、自己最高位を更新する。まだ粗削りなところはありますが、大野城の本気モードに期待度は赤丸急上昇。怪我明けでまだ十分に力を発揮できていない白鷹山も含め、九月場所では幕下陣の戦いぶりに注目したい。勝負の世界は、無常にも一瞬で白星か、黒星かの決着がついてしまいが、ずいぶん勝ちもあれば、内容のある負けもある。相撲は神事であると言われる。目の先は勝敗だけに拘らず、自分自身を鍛え抜き、相撲道を邁進していく者だけが真の勝者になれるのではないだろうか。



高安戦に勝利し、勝ち名乗りを受ける竜電



初日恒例の協会ご挨拶。八角理事長を中心とした土俵に立つことができるのは、大関戦。見事な技ありの攻めで栃ノ心を撃破。竜電の戦いぶりに期待も高まる。

幕下での初勝ち越しを



ご当所で6勝をあげた剛力山

五月場所は一勝止まりだった湘南乃海。名古屋場所での奮起を期待したが、初日から引いて叩く悪い癖の相撲で勝った。期待されてきた力士だけに解説の親方たちからも厳しい指摘が飛び、しかし、後のない二勝三敗で迎えた十二日目と十三日目は、ようやく攻める相撲で結果が出た。気迫が全面に出た時の湘南乃海は強い。二連勝で勝ち越して期待は九月場所へと繋がった。安芸乃山も大きな体ながら攻めきれず途中から引く相撲が目立つ。二人とも勝ち越すことはできなかったが、九月場所でもっともっと体を活かして前に出る相撲で勝負してほしい。

Table with columns for wrestler names (e.g., 大辻, 真庭山, 前大將, 藍, 櫻, 長谷川, 勝武士, 天恵, 前乃富士, 暁, 須磨ノ海, 恵比寿丸, 剛力山, 大衆, 大雷童, 大野城, 安芸乃山, 白鷹山, 湘南乃海, 輝, 竜電) and rows for their performance (win/loss record, current status, and commentary).

立行司 式守伊之助の目 大野城が四勝三敗と幕下自己最高位での勝ち越しを納めた。最高位での勝ち越しを納めた。最高位での勝ち越しを納めた。最高位での勝ち越しを納めた。



巧者に手こずり星を落とす場である。「肩が光って見えたら、肩が光って見えたら、肩が光って見えたら、肩が光って見えたら。」

高田川親方の喝! 竜電は最初から最後までいい相撲が見つけられず大きく負け越した。大関二人に勝って力がついたところは見せられたが、本来の速攻もろ差し相撲が出せないまま終わった。正代戦のような相撲を取ってれば悪くても勝ち越せたはず。自分の相撲を見失わないよう本人が自覚を持って磨いていってほしい。

<ご案内> 高田川部屋 千秋楽祝賀会 令和元年9月22日(日)午後6時30分開宴 会場 / 南国酒家・原宿本店にて ※会費制(別途ご案内致します) お申し込み / FAX 03-5646-0444 行司 式守伊之助 090-3215-6524 ※ショートメールでお願いします。